

番組審議会議事録（第8回、平成28年7月22日開催）

1 開催年月日：平成28年7月22日（金）

2 開催場所：TKP市ヶ谷ビル 地下1階 カンファレンスルーム B1A

3 委員出席

委員総数 9名

出席委員数 8名

出席委員の氏名：岡田裕介（東映株式会社 代表取締役グループ会長）、

足立盛二郎（前公益財団法人 日本棋院理事、

元ゆうちょ銀行取締役兼代表執行役会長・日本郵政取締役）、

兵頭俊夫（大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

物質構造化学研究所特別教授）、

野田慶人（日本大学 芸術学部 学部長）、

中村幸雄（一般財団法人 日本オレンジサポーター 理事長、

元株式会社損害保険ジャパン 代表取締役専務・監査役）、

金子光男（公益社団法人日本将棋連盟 学校教育アドバイザー 大学担当

明治大学付属明治高等学校・中学校 前校長）、

小川誠子（囲碁棋士／公益財団法人日本棋院 理事）

清水市代（将棋女流棋士／公益社団法人日本将棋連盟女流棋士会会長）

欠席委員の氏名：音 好宏（上智大学 文学部 新聞学科 教授）

放送事業者側出席者名：岡本光正代表取締役社長、勝股信昭取締役、

驒田雅文業務部部长、遠藤 健業務部課長、上枝史乃、高田智子

4 議 題

- ・棋戦の生放送について
- ・情報番組について
- ・人工知能特集番組について
- ・特番「史上初！ 七冠制覇 棋士 井山裕太」（囲碁）  
「第1期 将棋ウォーズ棋神戦」（将棋）について
- ・「囲碁プレミアム」「将棋プレミアム」について

5 議事の概要

(1) 棋戦の生放送

最近放送した番組の中から、生放送を紹介。

(2) 情報番組について

2016年5月から月1回放送を開始した「月刊囲碁棋聖戦」「月刊竜王戦」を紹介。

(3) 人工知能特集番組について

2016年5月に放送した「第4回 電聖戦」と7月に放送した「厳選棋譜解説 Google ディープマインドチャレンジマッチ」、「第26回 世界コンピュータ将棋選手権」を紹介

(4) 特番「史上初！七冠制覇 棋士 井山裕太」(囲碁)

「第1期 将棋ウォーズ棋神戦」(将棋)

七冠の達成を記念した特別番組と、新たに始まった「第1期 将棋ウォーズ棋神戦」を紹介。

(5) 「囲碁プレミアム」「将棋プレミアム」

イベントを中心に紹介。

## 6 審議内容

(3) 人工知能特集番組について

○ コンピュータとの対戦、非常に視聴者の関心は高い。棋士も表面は平常を装っているが非常に関心が高い。関心が高いというのは勝ったとか負けたとかいう事だけでは無く、報道するだけではなく、それは何を意味することなのか。コンピュータに負けたからがっかりする事なのか、そうではないのかというのを識者に語って頂くのも必要。

チェスでは、人間がコンピュータに負けるとやる人が少なくなった。囲碁でもやる人が少なくなる中でコンピュータに負けたという事がそういったことにならないように受け止めるべきだと思う。

人が囲碁を楽しむ事については、コンピュータに負けたからといって変わるものではないので、啓発していく番組を作ると良い。(足立委員)

→ モンテカルロ法でやっていた部分の終焉がこうなった。コンピュータに対して3子のハンデを与えていたが、電通大さんも今度は互先を希望している。その中でどういう番組作りをしていくか。コンピュータということで非常に注目が集まるので、足立先生がおっしゃった事をどう加味していくか。人間同士とは違う迫力がある。(放送事業者)

○ コンピュータに負けたからがっかりすることはない。人間が囲碁をやることの楽しみはこれからも変わらない。そういうことをどなたかが喋ってくださる場面があるといい。(足立委員)

○ もうすぐコンピュータが勝つ日がくる。その時どうするか。(兵頭委員)

→ 負けても「さすがプロ」というような、プロがどれだけスゴイかというのを見せるのが使命。(放送事業者)

○ プロ棋士の評価と、囲碁を知らない人の評価には差がある。確かにアルファ碁は強かった。2億8千万の人が見ている。こんなにさかんに若い人がこんなに関心を持

っている。(小川委員)

○コンピュータは人間では打たない手を打った。その手を中国も韓国も研究している。

日本もやってほしい。(兵頭委員)

○プロ棋士にコンピュータ観を聞いてみたい。コンピュータと人間を並べる必要は無い。(金子委員)

○コンピュータが人間と同じカロリーしか使ってはダメ、というのは？(兵頭委員)

○人間は負けるに決まっている。そんなにたくさんの棋譜をコンピュータに入れなくても良い。ボナンザをプロ棋士に入れないのですか？ 最後の1回勝って止めておかないと。(岡田委員長)

○コンピュータ同士は今は楽しそうだが、これから先は？ こればっかりになるとつまらない。プロ同士(の番組)がメインで良い(野田委員)

○コンピュータが解説するのは面白いかどうか。石田先生が解説するよりはコンピュータ。当分の間はテレビ番組としては面白い。この後はプロの団体に任せて、我々は面白い方をとる。(岡田委員長)

以上